

参考・プロフィール・編集後記

No	書名	著者	発行者	発行日
1	房総の歴史街道絵本	さいとう・はるき	崙書房株式会社	2002/2/23
2	房総の街道繁盛記	山本 鉦太郎	崙書房株式会社	1999/8/10
3	房総の馬乗り馬頭観音	町田 茂	たけしま出版	2004/7/15
4	千葉の道千年物語	国立民族博物館 助教授山本光正監修	千葉日報社	2002/5/27
5	市原地方史研究第12号	久留里道 中往還と市原	落合 忠一	
6	千葉県歴史の道調査 報告書15号久留里道	千葉県教育庁文化課	千葉県教育委員会	1990/3/29
7	君津市史 通史	君津市市史 編纂委員会	千葉県君津市	2001/9/20
8	国土地理院地図		国土地理院	
9	国土地理院航空写真		国土地理院	
10	迅速測図			
	延命寺版木		袖ヶ浦市 教育委員会	
	久留里城誌		久留里城 再建協力会	1979/8/1
	養老川	市原市史		1979/11/30
	養老川雑記	遠山 あき	崙 書店 ふるさと文庫161	

プロフィール

1943年6月 秋田県仙北郡神代村に生まれる。
村は、直径10Km程の大きさであったが、平地が多く又、水利が良かったので豊かな農地が広がっていた。
村には縄文時代以前からも生活していた跡が22ヶ所以上も発見されている。
子供の頃には、黒曜石の鏃や縄文土器が、畑に散らばっており容易に拾い集める事が出来た。
後々ストーンサークルや大型縄文住宅跡なども発掘されている。

上京して会社を1社夫々10数年程で、4社に所属したが仕事内容は「電子・電気・無線」に関わる内容で転社はしているが、転職はしなかった。
開発に関わってきたこともあり、疑問に思うことには解決まで寝食を忘れることもしばしばであったが、続けられたことは嬉しいことであった。

最初の会社では、下記項目の1965年頃から関わってきたが、その後諸外国に出て仕事をする機会を頂き、目を開かせてもらったことには大いに感謝している。

最初の会社の業態

- 1950年 NHK向け中波放送器納入
- 1957年 海上保安庁南極観測船「宗谷」に無線機納入
- 1961年 国産第一号の電子レンジを完成納入
- 1962年 電波時計「アキュラテック」完成販売
- 1963年 都市内自動車電話開発
- 1963年 KDD向け100KWパラレル運転、短波送信機納入
本機は1964年10月開催の「東京オリンピック」の様子を世界に向けて発信した
- 1965年 南極観測船「ふじ」向け2KW送信機他無線機納入
- 1967年 NHK宮崎放送局向け、国内初のトランジスタ化960MHz帯STL納入 (studio to transmitter link)

その他に、光・電波リモコン・自動ドアコントローラー・航空機搭載無線機・車載無線機・艦船搭載無線機・

日本国東南アジア在外公館通信設備・クエート国在外公館通信設備 etc

子供の時から、気象や超古代文明に興味を持ち、今もその延長上にある。

編集後記

この記録は、あくまでも「私の」久留里西往還であり、正解は未知である。

2015年から始めた調査も約5年となった。

歩いていると、近在の土地の方から色々と教えていただけたり・話を聞く事が出来た。

そうした助言の御蔭で、ここまで調べる事が出来たと感謝している。

「伝えなければ残らない」

「残さなければ伝わらない」このことを、心がけて行動しようと思っている。

2019年12月20日

千葉県市原市

大坂 謙志郎

著作

新潟地震4年後の栗島	1969年 1月
アジア・アラビア出稼ぎの旅	1972年 6月
18日間・ヨーロッパ学生旅行	1974年12月
私の新大陸見聞録	1975年12月
飛島	1976年11月
正月休み台湾旅行	1977年 6月
KEIKO WITSIL アメリカ女性	1980年12月
五葉山・登山の記録	2009年11月
オアフの休日	2010年 4月
平成23年東北地方太平洋沖地震	2011年 8月
四国遍路の旅から私の日本人論へ	2011年12月
古代から超古代への旅	2015年 3月
養老溪谷遠足	2015年 8月